

かどがわ

議会だより

November
2024

11

No.180



- 令和6年第3回定例会…………… 2P
- 一般質問 6人が登壇 ………10P
- 議会活動報告 ……………16P

輝くひと

特別会計等補正予算 全員賛成・可決

国民健康保険事業	2 億 8,746 万 9 千円を追加し	25 億 6,783 万 6 千円
後期高齢者医療	1,578 万 3 千円を追加し	5 億 8,983 万円
介護保険事業	1 億 8,889 万 4 千円を追加し	18 億 5,546 万 6 千円
簡易水道事業	48 万 7 千円を増額し	収益・費用ともに総額 1,783 万円

令和5年度決算 賛成多数、認定

決算額

歳入	1 0 4 億 6, 2 1 0 万 4 千円
歳出	1 0 0 億 7, 9 6 1 万 1 千円
歳入歳出差引額	3 億 8, 2 4 9 万 3 千円

新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策

新型コロナウイルス感染症は第 5 類感染症に移行しましたが、食料品やエネルギー価格の高騰が日々の生活や経済活動に大きな影響を与えています。行政は、感染予防対策やワクチン接種を継続するとともに、物価高騰に苦しむ家庭を支援するための施策に力を入れました。まず、新型コロナワクチン接種事業には 7,834 万円を支出し、町内の医療機関と協力して全希望者に接種を行いました。

物価高騰対策としては、住民税非課税世帯等への現金給付を行い、1 世帯あたり 3 万円の給付では 2,698 世帯に 8,094 万円、1 世帯 7 万円の給付では 2,720 世帯に 1 億 9,040 万円、住民税均等割のみ課税世帯には 1 世帯 10 万円を給付し、393 世帯に 3,930 万円の支援を行いました。また、子育て世帯に対しては、対象児童 1 人当たり 5 万円を給付する事業で 222 人に 1,110 万円、さらに住民税非課税世帯および住民税均等割のみ課税世帯の子育て世帯に対しても、対象児童 1 人当たり 5 万円を給付し、39 世帯 89 人に 445 万円を支給しました。

加えて、国の施策では手が届かない人々への独自の支援策も実施しました。町民全体に広く行き渡る生活支援策として、5 ヶ月分の水道料基本料金を減免する事業には 5,548 万円を投入し、消費促進のためにプレミアム付きの「門川元気振興券」を発行し、これに 3,931 万円を支出しました。さらに、飼料価格高騰の影響を受けた畜産農家 36 軒に対しては購入費の一部支援として 1,277 万円を支給し、食材価格の高騰による学校給食費の負担増加に対しても 685 万円を町の予算から支出し、子どもたちの給食費を補助しました。

これらの取り組みを通じて、町民の生活を守るため、感染症対策と物価高騰への対応を並行して進めています。

令和6年 第3回定例会

令和6年第3回定例会は、9月3日に開会し、19日に閉会しました。主なものは一般会計補正予算や令和5年度一般会計歳入歳出決算認定など26件を審議。

また一般質問は5日に議員6人が登壇、町内の遊泳場や公園利用、災害対策や AED の活用についてなど計10項目の質問を行った。(関連記事 10 ～ 15 頁)

一般会計補正予算(第4号) 全員賛成・可決
3億5,486万5千円追加、歳入歳出総額101億5,160万6千円

歳出の主なもの(金額は万単位、千円以下は切り捨てています)

在宅介護手当事業	90 万円
子ども医療費助成事業	158 万円
物価高騰対策として学校給食の原材料費	400 万円
移住定住推進事業	329 万円
公有林管理事業	800 万円
治山林道事業	1.073 万円
し尿処理施設維持管理事業	253 万円
ごみ処理事業	330 万円
ICT 教育推進事業	340 万円
小学校管理事業	249 万円
消防施設費	231 万円
林業用施設災害復旧事業	1,800 万円
財政調整基金への積立	2 億 6 千万円

一般会計補正予算(第5号) 全員賛成・可決

台風 10 号の接近に伴い、観光費において、町有地などの倒木の切断処理及び搬出業務など 17 万 2 千円を追加し、災害復旧費において、町内 10 カ所の流木や流出した土砂の撤去に係る重機使用料として 100 万円を計上した。

また、教育費においては、門川中学校の陸上部と男子ソフトボール部の全国中学校体育大会出場に係る補助金など 233 万 6 千円を計上した。これらの追加した予算額 350 万 8 千円の財源調整のため、予備費から、同額の 350 万 8 千円を減額する。

③ 男女が共に担い、安心して子育てができる町づくり

子育て支援の充実に努め、保育所や認定こども園、放課後児童クラブなどの環境整備を進めてきました。保護者の相談に応じる教育相談室や不登校対策の自立支援事業も提供。中学生までの医療費助成や仕事と子育ての負担軽減を図る制度も拡充しています。乳幼児健診には新しい視力検査機を導入し、早期の眼科受診が可能な体制を整備。学校教育では ICT 教育の推進、英語教育強化、読書習慣の促進、奨学金貸付制度を継続し、子どもたちの学力向上や国際感覚を育成。さらに、公園整備など安心して過ごせる居場所づくりも進めています。

④ 住みなれた地域で、安全で安心して暮らせる町づくり

災害対策を強化し、町一斉避難訓練や備蓄品の整備を進めました。防災講演会を通じて防災意識を高め、南町と上町では自主防災組織が地区防災計画を策定。消防団の活動を支援するため、第 13 部機庫の新設や消火栓ボックスの整備を行い、AED も小中学校や消防機庫に設置しました。地域交通では、代替バスや生活バス路線の維持に補助金を支出し、「かどっぴータクシー」の利用拡大を図りました。福祉分野では、相談体制の充実に図り、専門機関と連携して高齢者、障がい者、子育て世帯、生活困窮者を支援。地域医療体制の充実に取り組み、休日夜間の救急医療や小児科病床確保のため、医療機関に補助を行いました。

令和 5 年度決算 監査委員の決算審査意見の概要

町税、前年度と比較して収入済額で 8338 万円の増

濱村 滋夫 代表監査委員



★ここがポイント

- ①町税は、固定資産税を中心に町民税・たばこ税等それぞれの税目で増加した。
- ②未収金の対策として全庁的に債権管理の研究を行うなど実効性のある取組を継続して要望する。
- ③歳出における性質別決算額の構成比については今後ともバランスの取れた適切な行政運営を望む。
- ④国民健康保険事業は被保険者数の減少により厳しい。人口減少時代を見据えた国民健康保険や後期高齢者医療、健康づくり事業、介護予防事業等が連携した施策をさらに進めて欲しい。
- ⑤水道事業会計は黒字決算であるものの、将来的な収益減少を考慮し、事業経営戦略に基づく円滑な事業推進に努め、健全で適切な水道事業の展開を期待する。
- ⑥今後も町民福祉の向上を念頭ににした町勢の発展と持続可能で安定的な財政運営を引き続き望む。

令和 5 年度 決算

『4つの施策について』 このように実施しました

山室 浩二 町長



① 豊かさを実感できる町づくり

第 1 次産業の振興と後継者育成、地域経済の活性化等に努めました。農業では「農業次世代人材投資資金」を交付し、若手就農者を支援。また、広域農道が延岡市まで開通し、交通環境の改善が期待されています。林業では GPS 機能を活用し現場環境を改善し、森林環境譲与税で就業者育成を進めました。有害鳥獣対策として電気柵や箱わなの設置補助も実施。水産業では船舶免許取得費助成や燃費対策などを支援。商工業では創業支援補助や観光物産展などで地域経済を活性化し、地場製品の PR を積極的に行いました。企業版ふるさと納税のトップセールスも実施。ふるさと納税では新規返礼品を 107 品目増やし、7 億円を超える寄附を獲得。さらに、門川町を舞台にした映画上映会での PR など、町の魅力発信にも努めました。

② 快適な生活を実感できる町づくり

道路など生活基盤となるインフラ整備を進めています。加草中村線の都市計画街路事業では令和 5 年に事業認可を受け、詳細設計を進めています。また、曾根米ノ山線や大原仁久志線の改良や町道の維持管理を継続し、小園栄ヶ丘線では防護柵の設置で通学路の安全対策を実施。洪水対策として船越川の堆積土砂撤去や排水路整備も進め、橋梁やトンネルの点検を行い、インフラの長寿命化を図っています。さらに、人口減少問題への対応として移住相談会や観光振興活動を実施し、西門川地域では「桜縁日 西門川さくら祭り」などを開催。また、旧西門川小学校を文化財の管理・展示施設として活用し、地域活性化を進めています。



令和5年度決算 認定委員会審査

産業建設文教常任委員会

〈地域振興課〉

問 ふるさと納税事業では、寄付額のさらなる増額のため、執行の努力により業者と返礼品の開拓・PRイベントを行い、新たに5事業者、107品の返礼品が加わったにもかかわらず、減少したのはなぜか。

答 制度改正があり、返礼率の見直しがあったため。6年度から寄附額の価格にあった返礼率にしている。

〈建設課〉

問 東九州自動車道の門川南スマートICの利用促進のための取り組みとは。

答 延岡市の広報にチラシを入れてもらうほか、県内のサービスエリアや道の駅でかどっぴーと一緒にチラシとへべすジュースを配り、PRを行っている。



道の駅での広報活動

〈農林水産課・農業委員会〉

問 遊休農地は全体の何%あるのか。

答 農地全体が381haで、その約6%。

問 特定財源の森林環境譲与税は、森林環境譲与税事業に100%充当か。

答 100%充当している。

〈教育課〉

問 学校給食に地場産品の導入は。

答 米、トマト、シイタケ、メヒカリ、鰯など郷土料理も取り入れている。

問 ALTの授業以外の活動とは。

答 生涯学習講座で英会話講師をしている。



学校給食

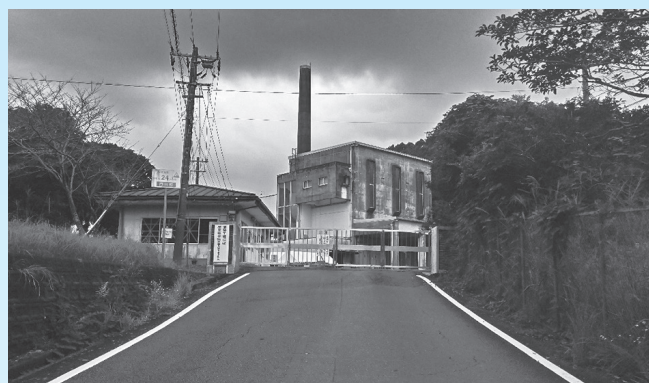
〈環境水道課〉

問 清掃工場の耐用年数は。

答 現在、工場は中継施設。耐用年数は過ぎている。修繕で対応中。

問 合併処理浄化槽の5年度末での普及率は。

答 80.2%



門川町清掃工場

(記 出口)

総務財政厚生常任委員会

〈総務課〉

問 機能別消防団のバイク隊の活動は。

答 行方不明者の捜索出動、延岡市バイク隊との合同練習のほか、避難訓練の際に出動した。

〈町民課〉

問 マイナンバーカードのメリットは。

答 電子申請により、手続きの簡素化が進んでいる。

〈税務課〉

問 町民税、法人町民税が伸びている原因は。

答 町民税は、給与所得者の賃金の上昇により前年度比713万7000円増加している。法人町民税は、町内事業者数の増加により前年度比140万9000円増加している。

〈企画戦略課〉

問 町民サービスのLINE窓口導入事業において、事前申請手続きや、ごみ回収日の情報提供など便利になっているが、今後、他の機能の拡充については。

答 税証明などの申請の機能拡充等の検討をしている。

〈財政課〉

問 旧庁舎解体測量設計委託料の入札状況は。

答 町内設計4社、町外設計業者2社で入札を行い、1986万224円で契約した。



旧庁舎

〈福祉課〉

問 子育て支援での次期計画策定業務の進捗状況は。

答 町内の中学生の保護者と15歳から39歳までの1,300人からアンケートを行い、計画策定を進めている。

〈健康長寿課〉

問 日向病院へ補助を行っているが、その内容は。

答 麻酔科医と小児科病床の受け入れ態勢の補助を行っている。

問 食生活改善事業ではコロナ禍で自粛していた活動を再開しているようだが、どれくらい回復しているか。

答 昨年に比べ、ヘルスメイト会員が4名、食育事業参加者が316名、食生活改善事業参加者も260名増えている。



日向病院



(記 魚永)

条例の改正等

課設置条例の一部を改正
妊産婦や子ども、子育て家庭に対し、母子保健と児童福祉が協働して一体的支援を行うため、新たに【子ども課】を設置。また、現在の町民課、健康長寿課、福祉課の業務を再編し、【町民健康課】と【福祉課】を設置する機構改革を行う。
(全員賛成・可決)

刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
刑法等の改正により、令和7年6月1日より、門川町条例中の「懲役」・「禁錮」を「拘禁刑」に改めるとともに、所要の経過措置を設けるための整理条例を制定するもの。
(全員賛成・可決)

個人番号の利用に関する条例の一部を改正
「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」に基づき情報連携を行う独自利用事務については、条例に定める必要があるため、所要の改正を行うもの。
(全員賛成・可決)

福祉健康交流研修センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正
福祉健康交流研修センター「心の杜」は、現在、令和3年度に策定した経営改善計画に基づき、経営改善に取り組んでいるが、民間の能力を活用しながら、更なる利便性の向上や施設の適正な管理に取り組むことを見据え、地方自治法第244条の2第3項の規定に基づく指定管理者制度の将来的な導入、及び最近の物価高騰による燃料費等の負担が増加していることから、安定した経営を図るため入浴料等の改正を行うもの。
(賛成多数・可決)

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正
内閣府令の施行に伴い、小規模保育事業所等における満3歳児以上の児童に係る職員の配置基準を改めるもの。
(全員賛成・可決)

子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正
子どもの医療費の助成対象年齢を15歳から18歳までに拡大するもの。令和7年4月1日から施行。
(全員賛成・可決)

国民健康保険条例の一部を改正
令和5年に公布された番号法等一部改正法により、令和6年12月2日から国民健康保険の被保険者証が廃止されることに伴う一部改正。
(全員賛成・可決)

人事案件
人権擁護委員の推薦につき意見を求める諮問
現委員の任期が本年12月31日に満了となることから、引き続き現委員を法務大臣に推薦するため、議会に意見を求めるもの。
吉田貴子氏 宮ヶ原在任
(適任とする意見を答申)

教育委員会委員の任命同意
現委員の任期が本年9月30日に満了となることから、その後任の任命について同意を求めるもの。
池田千絵氏 栄ヶ丘在任
(全員賛成・同意)

その他
財産の取得①
消防団第4分団第8部で使用している小型動力ポンプ付積載車が老朽化し、消防団活動に支障きたす恐れがあるため、新車を購入する。
(全員賛成・可決)

陳情第1号今後の災害対策及び福祉対策の国・県に関する陳情書
提出者 社会福祉法人 門川町社会福祉協議会
会長 中城廣美
総務財政厚生常任委員会付託

財産の取得②
Windows10のサポート終了のため基幹系業務を担当する職員の端末140台を購入する。
(全員賛成・可決)

請願2号学校給食費の無償化についての請願について
3月11日に産業建設文教常任委員会に付託され、閉会中の継続審査としていた。委員会報告では趣旨採択とし、本会議の結果、賛成多数で趣旨採択となった。

発議第1号地方財政の充実・強化に関する意見書
令和7年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、日本全体として求められている賃上げ基調に相応する人件費の確保まで含めた地方財政を実現するよう求める。
(全員賛成・可決)

議案第39号 門川町福祉健康交流研修センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
議案第39号 門川町福祉健康交流研修センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

表 決 表

各議員の審査結果 (○：賛成、●：反対、－：議長)

議 案 (全員賛成の議案は除く。)	黒田 耕右	寺田 泰隆	岩切 義樹	魚永 崇貢	松本 良一	田中 豊和	宇都宮三良	米良 格	中城 資力	岩佐 祐一	森川 春夫	神崎千香子	出口 希俊	森 誠一
議案第39号門川町福祉健康交流研修センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	－
認定第1号令和5年度門川町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	－
請願第2号学校給食費の無償化についての請願について (委員会報告のとおり趣旨採択)	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	－

討 論

議案第39号 門川町福祉健康交流研修センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

反対



神崎 議員

料金の改定につきまして、公共施設として、累積数億円の赤字を税金で負担してきた町民の皆様に対して、せめて70歳以上、障害のある方には、延岡市のように減免措置をすとか、配慮すべき。指定管理に関しましても、具体的な町の姿勢も見えません。

賛成



米良 議員

執行の方々が維持してきた福祉健康交流研修センター(心の杜)をこの議案によって、料金改定してやるんだと、指定管理者も考えるんだと、ようやく動いてくれたなということをもって賛成といたします。

反対



神崎 議員

子育て人づくりセンターの相談事業は、今後の子育ての在り方を教えてくれるヒントがいっぱい詰まっている。審査の中で、この143件の相談事業の内容がわからない。との事だったが、内容の精査もしないで、新たな指定管理の公募をしている。この事は、町長の言われる現場主義とは程遠い。

※この議案に対する賛成討論はありません。



一般質問を
動画で見よう



(QRコードは株式会社
ウェブの登録商標です)

めら いたる
米良 格 議員

問 かどがわ温泉心の杜について

答 経営改善に取り組んでいく

問 かどがわ温泉『心の杜』の昨年度（令和5年度）の決算額は。

答 収入は入浴料、施設利用料、レストラン売上等含め約1億2千万円、支出額は約2億1千万円であり収支差額は約

9千万円である。令和4年度に比較し利用者は増加している。

問 赤字が続いているがこの5年間と過去10年間の累積赤字は。

答 修繕料など投資的

経費を除き令和元年～5年度（過去5年間）の累積赤字は約3億5千万円。平成26年度～令和5年度（過去10年間）の累積赤字は約4億5千万円。

問 マネジメントリーダーはどなたか。

答 マネジメントリーダーという役職はないが、プロジェクトリーダーを配置している。地域振興課長と心の杜保全会会長の2名。



▲ かどがわ温泉『心の杜』

鳥獣被害対策について

問 鳥獣対策の本町担当は何名か。

答 農林水産課林政係の担当職員2名と鳥獣被害対策実施隊員1名の計3名。

問 人的被害の報告はないか。

答 ケガ等の報告はない。

問 猟友会など害獣に対する組織は。

答 猟友会の地方支部組織として「日向地区猟友会門川支部」があり、会員の方に

捕獲許可を出し、現在6班64名の方が年間を通じ捕獲活動を実施している。

問 電柵などの補助率について。

答 国の鳥獣被害防止対策総合交付金と町の鳥獣被害防止対策事業補助金の2種で対応しており、資材代など。町補助金としては電気柵、箱などの導入経費の3分の2となっている。林地での鹿ネットの設置に対しては68%の補助となっている。

問 十分な対策保護助成はできないか。

答 今後も現支援策を継続していく。



▲ イノシシ捕獲用箱わな

問 農林水産省の「鳥獣対策5か条」は本町で徹底されているか。

答 今後も、猟友会を中心に捕獲活動を実施、防護柵設置の支援、生息環境管理の重要性を啓発していく。



一般質問を
動画で見よう



(QRコードは株式会社
ウェブの登録商標です)

くろだ こうすけ
黒田 耕右 議員

問 町長・町議選でも選挙公報の配布を

答 選挙期間までの作成・配布は厳しい

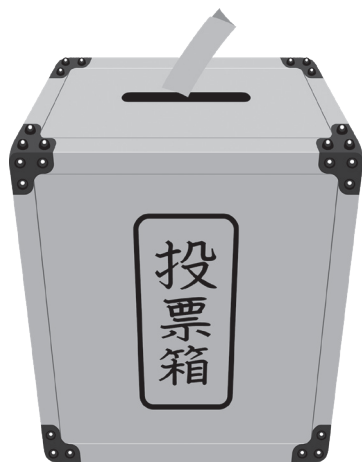
問 町長・町議会議員選挙における選挙公報配布の実施について全国的に投票率の低下が問題視されており、昨年の門川町議会議員選挙においても投票率は50・13%と、約半数の方が選挙に参加していない結果となった。

町民の皆様は町政に対する興味・関心を持っていたため、町や議会は様々な取り組みを行っているが、門川町では町長・町議会議員選挙において選挙公報の配布を行っていない。他の市町村の首長・議会議員選挙に

おける選挙公報を確認したところ、候補者の顔や公約が一覧できるため、候補者の情報が非常に分かりやすくなっている。

答 投票率向上に向けたさらなる取り組みとして、門川町でも町長・町議会議員選挙における選挙公報の配布を実施することはできないか。

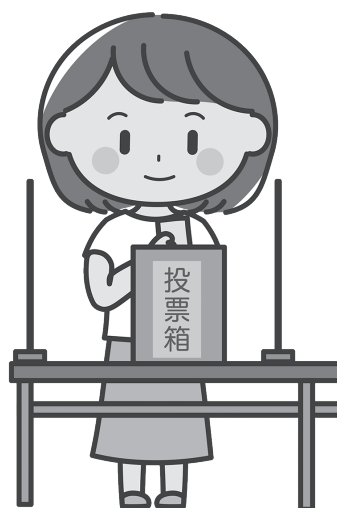
議員が言うように町民の皆様は選挙に



興味や関心を持っていただくことは大変重要だと考えている。

そのような中で、立候補者の氏名や写真、政見等をまとめた選挙公報があるが、これの配布については、選挙の期日までの短い期間で各世帯に配布しなければならぬ。

町民の選挙においては、告示日から選挙期日までの5日間において選挙公報の



原稿の受付、校正、印刷、確認、仕分け等を行い、各世帯に配布まで行うことは、時間的にとても厳しいと考えている。

そこで、本町としては、投票率向上に向けた取り組みとして、門川中学校の生徒全員を対象とした主権者教育や、生徒会役員選において実際の選挙で使用する専用紙での投票用紙の作成や、記載

台、投票箱の貸し出しを行い、選挙や政治への関心を高める取り組みを行っている。今後も町民の皆様へ、選挙や政治を身近に感じていただくように啓発活動を推進するとともに、候補者の政見等を有権者の方々に広く周知するためにも、選挙運動や政治活動を適切に実施してもらいたいと考えている。



一般質問を
動画で見よう



(QRコードは株式会社デンソー
ウェアの登録商標です)

うつのみや 三良 議員
宇都宮

問 子供たちの公園利用について

答 より良い公園の利用に努めたい

問 子供たちがボール遊びが出来ない公園があるが、町は何か取り組みされたのか。

答 地元自治会と覚書を締結し、適切な公園の利用や管理を行い、また、公園の遊び方について個別に

各自自治会の役員の方と協議を行うようにしている。

町内の遊泳場について

問 子供たちが気持ちよく水遊びが出来、河川プールを設営することは出来ないか。

答

子供たちが河川に親しむ機会は、大変貴重な体験になると承知しているが、自然を相手にする以上、予期せぬ水難事故の可能性があり、

本町においても過去に遊泳中の死亡事故という、悲痛な経験をしている。公共の利益や他人の活動を妨げない限りにおいて、自由に使用できることが原則である



ここでのボール遊びは危険なので禁止します

とされており、本来水遊びに関しても何ら問題ないことかと考えられる。自由使用については、自らの意思に基づき行動する限り、その際の安全確保は基本的に利用者にお願いしていることが前提とされている。親水公園、親水護岸などの施設、人工公物が設置される場合は、自己責任に加え、幅広い年代の利用も想定した万全の安全対策が必要となり、安全確保する考えも一様には難しいものと認識している。

このようなことから、現時点において河川プールの設営についての考えはない。

問

町内に河川プールが出来てほしいと子供たちが思っている、こういった子供たちの思いを理解し、前向きに考えてほしい。

答

子供たちが自然に親しむ機会は大変重要なものと理解している。今後も子供たちが安全に本町の自然環境に触れ、体験学習できるような施策を展開できるように努めていきたい。



一般質問を
動画で見よう



(QRコードは株式会社デンソー
ウェアの登録商標です)

てらだ やすたか 議員
寺田 泰隆

問 地震等の災害対策について

答 公共施設の耐震診断や耐震補強については完了

問 門川町の公共施設で倒壊等、リスクのある建物などはあるか。

答 公共施設の耐震診断や耐震補強等については完了しており、現在のところ耐震補強が必要な建物はない。

問

空き家等も含めリスクへの今後の対応は。

答 適正な管理が行われていない家屋の所有者に対して文書等での通知を行っている。また、著しい老朽化のために危険性や衛生上有害になる



▲ 備蓄倉庫

恐れがある危険家屋については調査し所有者への通知やアプローチを個別に行っている状況。

問

高潮ハザードマップで草川小学校体育館付近は1・0m、3・0m未満の高潮浸水想定区域となっている。体育館横の備蓄倉庫は地面に設置されていており、浸水の可能性が考えられる為、浸水対策

が必要だというのが見解は。

答

高潮・津波の浸水区域に入っているが、体育館については土砂災害等の災害時避難場所になっている。一定期間避難所として利用される方を対象として設置している。

AEDの活用について

問

AEDの設置場所を門川町のホーム



▲ AED

い等も検討していたきたい。

答

購入費用や定期的なメンテナンスが必要となるため、事業者が購入し、設置することは難しいとは思いますが、文章での協力依頼などを検討していく。また、「救急救命講習」等の受講などの啓発もしていきたい。



一般質問を
動画で見よう

(QRコードは株式会社
ウェブの登録商標です)

うおなが
魚永 議員

問 「大規模災害に備える携帯トイレ等の
備蓄」について

答 備蓄を進めていく

問 能登半島地震で、人間の尊厳や命にも関わるトイレ問題が顕在化した。各地の避難所に仮設トイレが到着したのは、発災から4日目以降と聞いている。つまり、発災から3日間は、「携帯トイレ」等を確保しなければ

ならない。災害時のトイレ環境の改善は「災害関連死」を防ぐために不可欠な取り組みであり、「被災者の命を守る」取り組みとして重要である。特に重要なのが、「携帯トイレ」の備蓄である。能登半島地震の教訓を踏ま



え、今後の災害に備えて、想定される最大避難者数をもとに、「携帯トイレ」の備蓄計画の見直しと同時に必要数を調達すべきと考えるが、必要数に対する備蓄の現状と今後の方針について伺う。

の運営マニュアル等に反映する必要があると考えるが、見解を伺う。

答

現在本町での簡易トイレの備蓄状況は、296個の計画に対し297個の備蓄となっており、各指定避難所の備蓄倉庫へ収納している。次に、携帯トイレの備蓄状況は、74000枚の計画

に対し27000枚の備蓄となっており、備蓄率は36・5%である。今後も、令和3年度に策定した「門川町備蓄計画」に基づき、必要数の確保に向けて計画的に備蓄を進めていく。

ボールベッドの組み立て等の訓練を行った地区もあり、町から防災専門員が出向き、携帯トイレ等の使用方法のレクチャーを行っている。避難所等のトイレ問題は、多くの健康被害や衛生環境の悪化をもたらすことになる。各家庭に一週間程度の携帯トイレの備蓄をお願いしたい。



携帯トイレ



一般質問を
動画で見よう

(QRコードは株式会社
ウェブの登録商標です)

かんざき
千香子 議員

問 加草く中村線 完成年度は

答 早期完成に向けて努力する

問 加草く中村線の進捗状況と完成年度、総事業費は。

答

現在、道路設計、日豊本線を跨ぐ橋梁詳細設計に係るJR九州との協議などを進めている。今後、都市計画事業認可時点では、事

業期間を令和11年度末、総事業費は、約13億円の予定。なお、事業費及び事業期間については、資材の高騰や今後の用地買収、工事の進捗状況によつては、変わってくるので、早期完成に向けて努力する。



▲ 加草・中村線

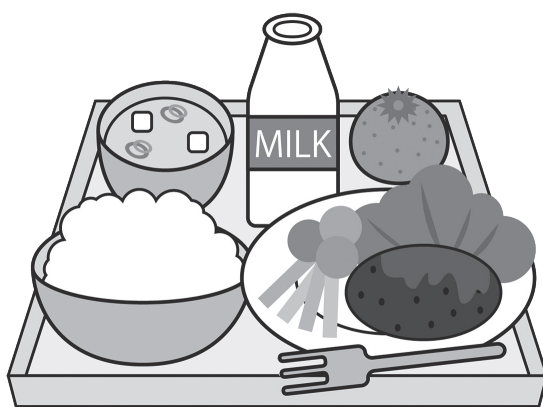
学校給食

問

専門家によると浸透性農薬のネオニコチノイドは、米や野菜の内部に残留し洗っても落ちないことから、消費者の間で不安が高まってい

る。

国は、2050年までに、有機農業の面積を全体の25%に拡大する「みどりの食料システム戦略」を打ち出し、有機給食の推進も支援の対象とされている。



子供の健康と食育、農業の新たな支援策として、学校給食に地元産の米や野菜の有機化を取り入れたらどうか。

答

文科相においては、学校給食で、有機農産物に触れる機会を増やすことの有効性を示しており、本町でも、12月8日の「有機農業の日」

の取り組みの一環として、学校給食での有機農産物の活用について研究を進めている。

しかし、食材の確保が困難であることや仕入れ単価も高額で、限られた給食費で賄うことはできない。様々な課題があり、積極的な導入は考えていない。

門川町議会報告会兼意見交換会 8月1日（木）15:00～・19:00～

- ・門川町商工会
場所：門川商工コミュニティセンター
APIO（アピオ）
2階大会議室
議員13名参加
人材不足・物価高騰の問題等について、意見交換しました。



活発な意見があった商工会

- ・門川町婦人団体連絡協議会
場所：門川町役場3階会議室
議員12名参加
環境問題について廃油を利用した石鹸作りなど楽しく自然にも優しい話が印象的でした。



婦人団体連絡協議会の意見交換会

令和6年度 国道388号（門川町～椎葉村間） 整備促進期成同盟会 現地調査及び総会開催

- ・現地調査 令和6年8月2日（金）10時～
場所：門川町川内国道388号庭谷～美郷町北郷舟方工区
- ・総会 令和6年8月2日（金）11時～
場所：美郷町役場 北郷林業センター 1階研修室

議員7名参加
継続実施中の区間について、早期完成に向けて予算の重点配分を図ること。未改良区間の早期整備を図る為、
①門川町五十鈴 ～ 小園
②門川町松瀬 ～ 美郷町北郷黒木
③美郷町南郷鬼神野 ～ 椎葉村母尾
以上の区間において、新たな工区を設定すること等を要望・提言することに同意し、気持ちを一つに取り組んでいきたい。



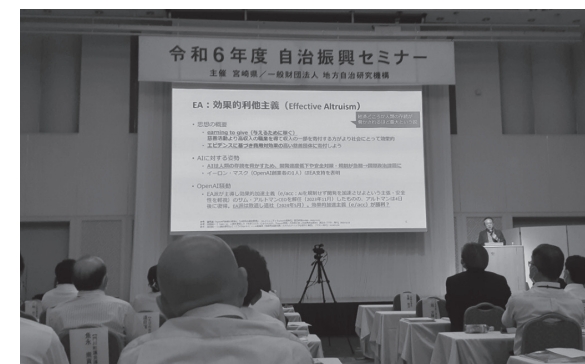
議会活動報告

宮崎県森林・林業活性化議員連盟連絡会議総会・ 研修会及び、宮崎県再造林推進決起大会が開催されました

令和6年7月2日（火）14:00～
場所：宮崎市民プラザ「オルブライトホール」
議員2名参加
当日は宮崎県再造林推進条例の公布・施行日でした。宮崎県では、再造林率日本一を目標とする「グリーン成長プロジェクト」を立ち上げ取り組むこととしています。



令和6年度 自治振興セミナーが開催されました



令和6年7月12日（金）13:00～
場所：宮崎観光ホテル
議員4名参加
人口減少時代における自治体間の広域連携について考えました。

九州中央自動車道建設促進沿線議会総会・決起大会 7月30日（火）

令和6年7月30日（火）13:00～
場所：山都町総合体育館パスレル
議員12名参加
地域にとって真に必要なとされる社会資本であることや、早期完成にかける熊本・宮崎両県の沿線住民の長年にわたる悲願をご賢察いただき、その実現に向けての措置を強く要望するものです。



YouTube による議会放映

門川町議会一般質問の YouTube 配信を
始めました!!

令和 6 年 9 月 4 日 10:00 ~

一般質問 6 名の議員が質問しました。

こちらの QR コードから YouTube へ移行します👉



(QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です)



今回は、庵川で漁業に情熱を注ぐ「輝くひと」をご紹介します。
結婚を機に、家業である漁業を手伝い始めてから 40 年の時が
過ぎ、今でも毎朝新鮮な魚がどれだけ取れるかを楽しみにして
いるそうです。

「私たちが捕った魚が、門川やその近隣の皆様の食卓を支えてい
ることを考えると、大きなやりがいを感じます。」との事でした。
漁業に携わられている方々のおかげで、私達は門川の新鮮な魚
を味わうことができます。

これからも、楽しみにしています。



議会だよりで紹介したい「輝くひと」を募集しています。業種や団体問わず応募をお待ちしております。

(議会広報編集特別委員会)

12月議会のご案内 (予定)

12/3(火)	3日(火)	議案の上程(開会)
↓	4日(水)	一般質問
12/10(火)	10日(火)	議案の採決(閉会)

上記の日程で開催を予定しています。日程は変更
になる場合がありますので、町のホームページ等
でご確認ください。

編集後記

今年は、災害発生率が高く日本全国で災害が発生し
ています。1月の能登半島地震をはじめとし、再度、台
風による災害、もうやるせない気持ちでいっぱいです。
被害にあわれた方々にお見舞い申し上げます。宮崎県
もまた南海トラフ巨大地震の前触れが起きたばかり
です。門川町の皆様、備えあれば災いなしです。普段か
ら意識をもって行動、準備をしておきましょう。ちなみに
私は寝室にライフジャケットを備えています。

■発行者/門川町議会議長 森 誠一

■編集/議会広報編集特別委員会

〒889-0696 宮崎県東臼杵郡門川町平城東1番1号 TEL(0982)63-1140

■議会広報編集特別委員会/委員長 出口 希俊 副委員長 岩切 義樹

委員 黒田 耕右 魚永 崇貢 田中 豊和 寺田 泰隆

■印刷/株式会社 ながと